

自走式破碎機

SANDVIK QJ341

QJ341 は SANDVIK 社製ジョークラッシャの旗艦機種として世界で活躍しています。
巨大な 1200 x 750mm のジョー開口部で圧倒的な稼働率を誇ります。



50t 級クラッシャー

- 無線または PLC 画面を通じた油圧調整式のジョー設定
- 粘性材料の破碎または妨害物を取り除くための反転破碎動作
- 負荷状態での起動を可能にする油圧式駆動装置
- フィード率を制御し、オペレーターの操作を最小限にするため、ジョーに装着された自動レベルセンサー
- リサイクル業務のための無線制御によるメインコンベヤ上の昇降設備
- 起伏のある地形でも機体の安定性を保つジャッキレッグ

機器	シングルトルグル C12 ジョークラッシャー
フィード開口部	1200 x 750 mm
最大フィードサイズ	750 mm
エンジン	C9 / C9.3 Acert 261 kW / 350 hp
輸送時 全長	14,150mm
輸送時 全幅	2,820mm
輸送時 全高	3,440mm
重量	50,380 kg

※すべての重量と寸法は、標準ユニットに限ったものです。

QJ341 寸法図 (単位: mm)

